



ほしぞら通信

2023年
10月号

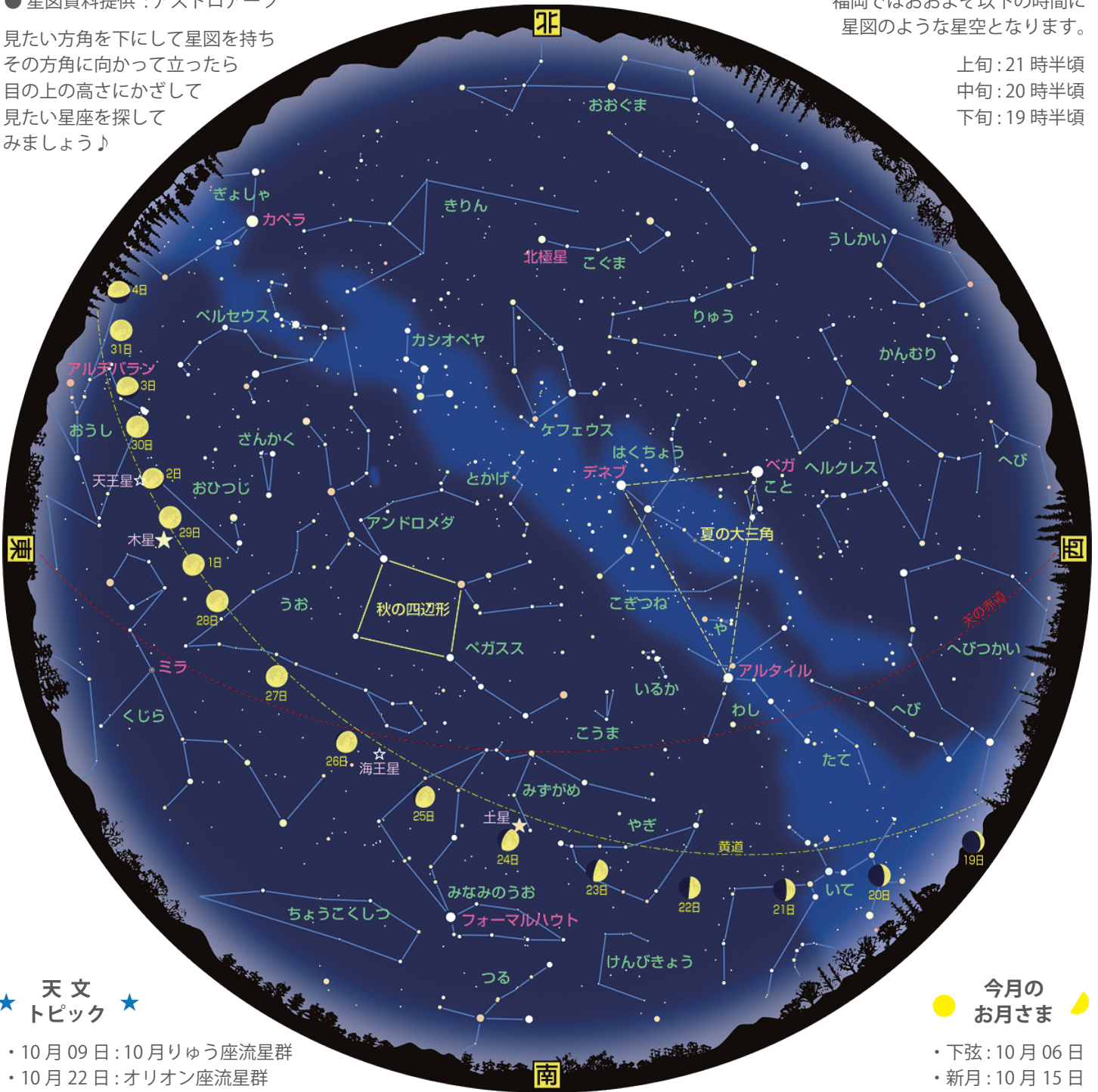


● 星図資料提供 : アストロアーツ

見たい方角を下にして星図を持ち
その方角に向かって立ったら
目の上の高さにかざして
見たい星座を探して
みましょう♪

福岡ではおおよそ以下の時間に
星図のような星空となります。

上旬: 21 時半頃
中旬: 20 時半頃
下旬: 19 時半頃



★ 天文 トピック ★

- ・ 10月09日: 10月りゅう座流星群
- ・ 10月22日: オリオン座流星群
- ・ 10月24日: 月が土星に接近
- ・ 10月29日: 月が木星に接近

● 今月の お月さま ●

- ・ 下弦: 10月06日
- ・ 新月: 10月15日
- ・ 上弦: 10月22日
- ・ 満月: 10月29日

【10月の満月】 ハンターズムーン (狩猟月)

★★ 星の歳時記 ★★

10月になると星空も秋の気配。夜が更けるほどに明るい星がたくさん見えるようになってきますが、控えめな宵の時間帯の空も味わい深いものです。夏は天頂や南の空に目を奪われがちになりますので、あえて北の空に目を向けてみましょう。

北極星の周りを巡る北斗七星は、西側からさらに反時計回りに進んで水平線の近くにありますが、以前も取り上げたかもしれませんが、福岡の玄界灘沿岸で北斗の動きを見ていると、ひしゃくの部分がちょうど海水を汲み取るような位置を移動していきます。この「北斗の水汲み」と呼ばれる動きは、糸島に住んでいる間に一度は見ておきたい現象です。

時期を逃すと水を汲むのが早朝になったり、北斗が海から遠いところにあって水汲みにならなかったりしますので、見やすい10月の間に挑戦してみましょう。

いとしま天文台で配布している星座早見盤を使うと、何時ごろに水平線に近づくか確かめることができます。まだお持ちでない方は、いとしま天文台のイベントに参加して手に入れてください。



**見るなら
今でしょ!!**

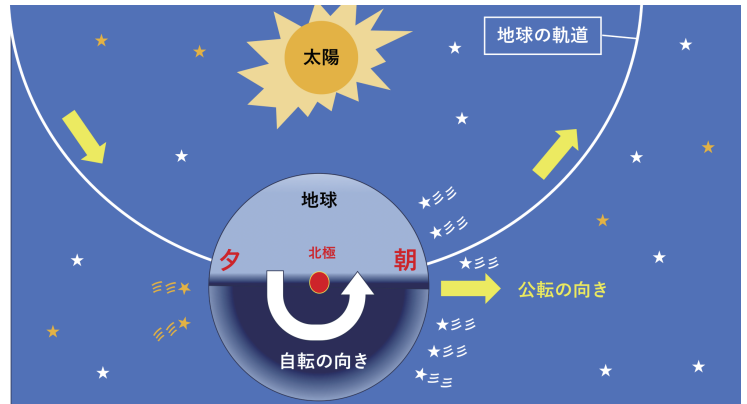
10月20日頃、オリオン座流星群が見頃を迎えます。夏の夜空に飛び交ったペルセウス座流星群と比べると流星の数は少ないですが、流星群はいつ突発的な出現があるかも知れない現象です。

ところで、「夕方、夏の星座が見えているのに、『オリオン座』って冬の星座じゃない?」と思いますよね。地球の自転で星は東から西へ日周運動をします。夕方の夏の星座は西に沈んで、朝には「オリオン座」をはじめとして冬の星座が東の空に昇ってきます。オリオン座流星群は、オリオンが振りかざした右腕から飛び出してくるよう見えます。

ところで流星は、夕方よりも朝の方が見るチャンスが多くなります。これは、地球が太陽の周りを回る（公転）向きが、「朝」の方向になるからです。

地球の進行方向に漂っているチリは、自動車のフロント硝子に打ち付ける雨粒のように地球に降り注ぎ、流星となります。

逆に夕方はチリよりも大きな砂粒や小石など、「地球に追いついてくる天体」が流星となることが多くなり、まれに「火球」という明るい流星が現れることもあります。



資料: Yasufumi Yamamoto

同じ頃の東の空には、「明けの明星」の金星がマイナス4.5等と大変明るく輝いています。太陽が昇る前はかなり冷えていますが、いつもより早めに起きて、流星や金星を眺めてみてはいかがでしょうか？

星乃 ^{☆☆}
よもやま ^{☆☆}
ばなし ^{☆☆}

『ちいさな馬』



ペガスス座の頭の横に並んでいるように見える「こま座」と言う星座があります。

この星座、星座絵では頭しか描かれておらず全天で2番目に小さい星座です。(ちなみに1番小さい星座は「南十字座」)

それにしても、なぜ馬の頭だけなのでしょう？この星座、特に神話などはなく、子馬の正体についてもハッキリとしていないようです。

すぐ隣にペガスス座があるので、そのペガススの弟馬「セレリス」であるという説や、海の神様ポセイドンが砕いた大きな岩から飛び出した馬であるという説などもあるとか…

日本では昭和30年頃まで馬の子を意味する「こま(駒)座」と呼ばれていました。国が違ってもしっかり「子馬」なんですね(^^;;

ヒトリ ^{☆☆}
ゴト ^{☆☆}


秋の夜空に輝くただ一つの一等星。みなみのうお座にあるフォーマルハウトは私の大好きな『秋のひとつ星』です。

今井美樹さんの『PRIDE』という曲の一節『私は今 南の一つ星を見上げて 誓った〜』と口ずさみながら、よく秋のひとつ星を見上げています♪

今年フォーマルハウトの少し上に土星が輝いていて、南の空には縦に土星とフォーマルハウト2つの明るい星が並び、そして東の空にはさらに明るい木星も輝いています。

ちなみに去年は、この3つの星が三角形を作り、例年とは違う、特別な秋の大三角が見られました。少しづつ動いていく惑星によって、普段とは違う星の並びが作られて、あれ？あの星座にあんな明るい星あったっけ？あの星はなんだ??と、思わず星図アプリで確認してみたりして♪そんな小さな楽しみも日々星空を見上げている星好きさんへのご褒美なのかもしれませんね(*^_^*)

Miyu



定例観望会開催のお知らせ いとゴンマークの「天文台号」が目印ですよ~♪

開催予定日 << 要予約 >>
10月21日(土)・11月18日(土)
(開始時間 19:00~) (開始時間 18:30~)

開催場所
志摩中央公園グラウンド (糸島市志摩初)

※ 雨・天候不良時は中止となります。
当日の天候によって開催状況が変わる可能性があるため、当日17時までにホームページ・Instagram・Facebookでお知らせします。確認いただき、ご来場をお願いします。

お問い合わせ・お申し込み

● 平日 (08:30~17:15) ● ● 観望会当日 (14:00~21:00) ●

糸島市生涯学習課 星空ナビゲーター 携帯
092-332-2092 080-8050-8609

↑前日までのご予約はこちらへ↑ ↑当日問い合わせはこちらへ↑

こちらで情報を発信しております。何かお問い合わせがありましたら、メッセージ等でお問い合わせください。

ホームページ Instagram Facebook



いとしま天文台 検索 ITOSHIMA.TENMONDAI いとしま天文台

★編集後記★ 10月最初の土日は『いとしま市民まつり』が開催され、市内外からたくさんのお客様が来場されます。私たちも例年、太陽観測とパネル展示でまつりに参加しています。会場で配布されたこの『ほしぞら通信』を初めて目にされた方も多いでしょうか (^_^) これをきっかけに『いとしま天文台』に興味をもっていただけたら嬉しいです。ぜひ定例観望会もお越しください。お待ちしております (^_^)/